

○「第2版」編集にあたって

本書は、平成23年12月に刊行した『公益法人・一般法人の運営実務』の改訂新版です。

第1版につきましては、幸いにも皆さんの圧倒的な支持をいただき、この種の本としては異例なほどの売れ行きとなりました。

このことは、特例民法法人から公益法人、また一般法人へ移行した法人において、移行後の運営に関する法務と実務についての疑問や質問が多く存在することの証左であり、本書のニーズや役割の重大さを改めて深く認識した次第です。

第2版は、第1版以降、実務として定着した事柄や実例の積み上げもあることから、内容の一層の充実をはかるべく、皆さん方から寄せられたご意見や新たな疑問や質問にお答えするために改訂を行ったものです。

主な改訂・新規追加事項は、次のとおりです。

- ① 第3部「行政庁への手続等」では、変更認定・認可及び届出の最新事例を紹介し、さらに立入検査はじめ行政庁の監督等についても、実例にもとづき行政庁側の見解や対応について述べていること。
- ② 第4部「登記手続」では、非営利法人界に精通する司法書士による全面改稿を行い、より実務に即した内容としたこと。
- ③ 第5部は、第1版にて「後続の事項として追加していく所存」と記した法人の組織変更についての追加を実現し、「合併、解散、清算等」とし、従来の合併以外の事柄も取り上げ、その対応すべき実務について解説していること。

なお、その他の改正点として、

- ④ 第2部の参考としていた「別表H作成の解説」を最新の見解を取り込みつつ、より分かりやすいものに改め、本文に入れ込んだこと。
- ⑤ 大幅ページ増にともない検索性・利便性に配慮し、新たに「資料目次」と「索引」等を追加したこと。

第1版に引き続き、皆さんのご意見やご質問により、あるいはご叱正を請い、本書をさらに充実させていく心算です。本書が第1版以上に皆さんのお役により立つならば、執筆者一同これに勝る喜びはありません。

執筆者一同